

防火会報 2016

毎月1日は
防災の日です

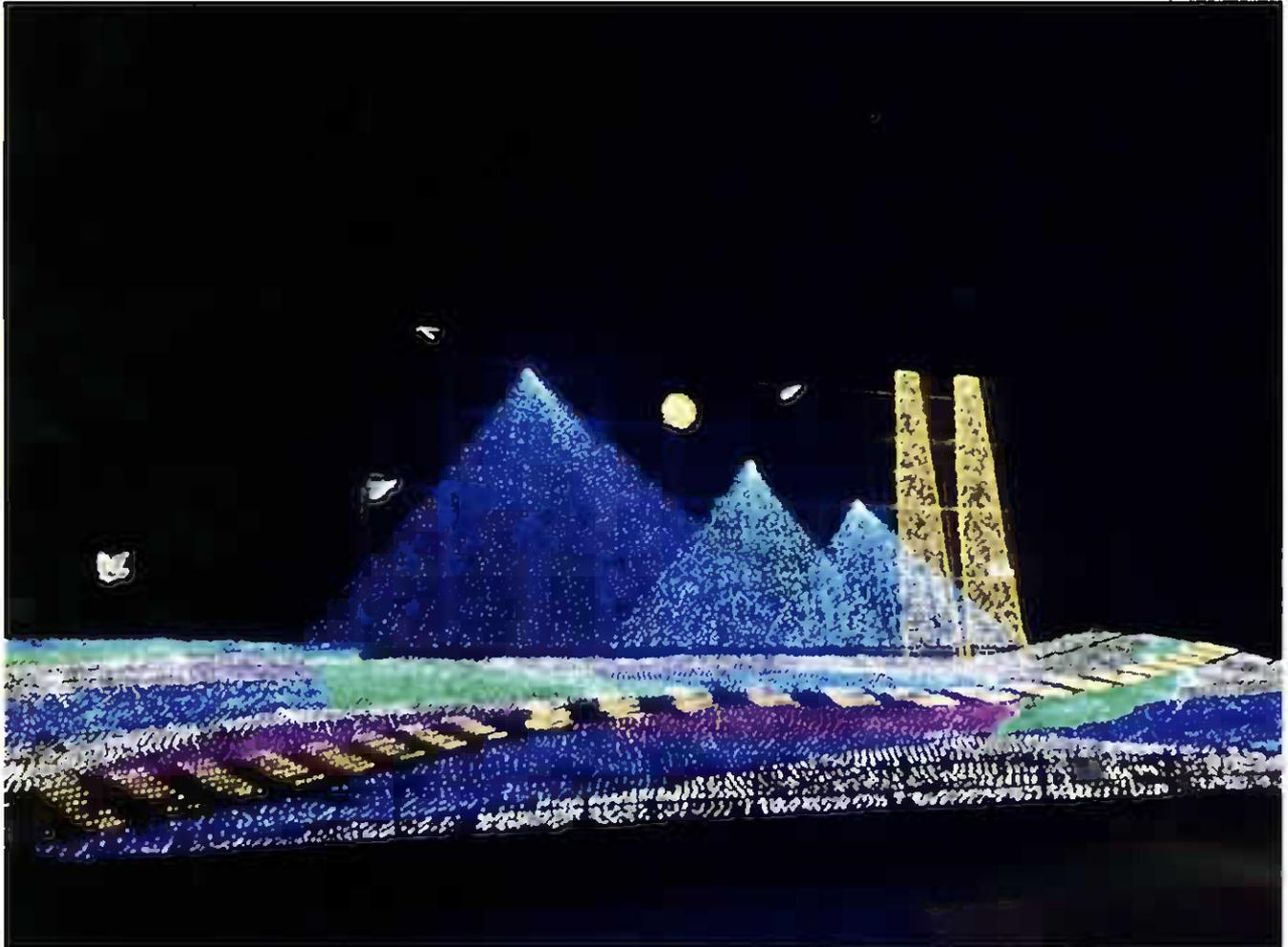


（一社）田川地区防災協会

（一社）田川地区防災協会

NO.42

- 発行 一般社団法人 田川地区防災協会
- 発行人 平田 篤三郎
- 印刷 有川崎印刷 ☎42-8420



大任町 道の駅 おおとう桜街道 イルミネーション
写真提供：大任町



運営総代会	3
火災と救急の概要	4
実施した防災事業	5

●平成27年度 全国統一防火標語

無防備な 心に火災が かくれんぼ

●平成27年度 危険物安全週間推進標語

無事故へと 気持ち集中 はっけよい

謹んで新年のお慶びを申し上げます



一般社団法人
田川地区防災協会
会長 平田 篤三郎

平成28年の輝かしい新春を迎え、会員の皆様をはじめ関係各位の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、平素から当協会の事業運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、幸いにして田川管内での大きな災害は無いものの、全国的に見ますと、9月の鬼怒川決壊等による浸水被害を発生させた台風17・18号による関東・東北豪雨や多数の台風の襲来、全島避難が行われた口永良部新岳、避難勧告が発令された桜島及び立入規制が行われた阿蘇山等の噴火や南海トラフにあたる徳島県南部、大分県南部の震度5強の地震と全国各地で頻発する自然災害の恐ろしさと、その威力の凄まじさを痛感した年であり

ました。

このように、全国で頻発する自然災害や社会情勢の変化による災害の大規模化、複雑多様化等、防災協会事業所を取り巻く状況は、大きく変化しており、地域住民の安全・安心を向上させていくためには、これまでに以上で消消防災機関と協力連携し、総合的な防災体制づくりを推進していく必要があります。

このような中、当協会は設立当初から自主防災組織として、「自分たちの地域や職場は自分たちで守る」という意識のもと、昨年も田川地区消防本部主催の総合防災訓練に、事業所会員とLPガス部会が参加、各防災機関と連携を図り、災害時の対応訓練を実施しました。

また、高齢者宅での防火診断や火災予防運動の協賛等の各種事業を実施し、田川地区の防災体制の強化推進に取り組みてまいりました。

今後とも、田川地区消防本部・署はもとより、各関係機関相互の融和強調を図り、地域防災拠点としての役割を果たせるよう防災力の向上に積極的に取り組み、意識も新たに防災活動を推進していきたいと考えています。

最後になりますが、この一年が災害の無い安全で安心な年でありますとともに、会員各位の益々のご発展、ご活躍と皆様にとって、幸多き年となりますことをご祈念いたしました。また、年頭のご挨拶とさせていただきます。



田川地区消防本部
消防長 壽浦 一成

平成28年の新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人田川地区防災協会会員の皆様方におかれましては、平素から田川地区の安全・安心なまちづくり及び防火・防災思想の普及にご理解、ご協力を賜り、地域防災に多大なご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、梅雨前線や台風などの影響により、国内各地で記録的な豪雨が相次いで発生し、大きな被害をもたらしています。

特に、9月の茨城県の鬼怒川決壊による被害は、甚大なものとなっております。また、5月の口永良部新岳の噴火に始まり、桜島、阿蘇山の噴火と九州においても火山噴火が頻発しまし

ました。

た。

その破壊力のすさまじさと共に、いつ起きてもおかしくない自然の驚異を痛感いたしました。

昨年の田川地区の災害等概況について申し上げますと、幸いにして大規模な自然災害は発生しておりませんが、火災件数は97件、救急件数が7、110件でありました。

災害による被害を軽減し、地域住民の安全安心な生活を守るためには、住民一人ひとりの防災意識の高揚と自主防災体制の確立がこれまでに以上に求められているところでございます。

安全安心な地域づくりのためには、貴防災協会や消防団など防災関係機関と一体となって、防災に関する地域コミュニティ体制を強化していかねければなりません。

自助・共助・公助が一体となつてこそ、災害に強い地域の実現につながるものと確信しております。今後、多くの皆様と協力していきながらこの目的に邁進していく所存であります。

最後になりましたが、貴防災協会と会員皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





平成二十七年総会は、多数の来賓を迎え開催されました。議決された内容は次のとおりです。

- 一 平成二十六年度一般社団法人田川地区防災協会収支決算の承認について及び監査報告について
- 二 役員を選任について



防災功労表彰を受けられた方は次のとおりです。

防災功労表彰【会長表彰】

防火優良事業所

- 江藤石油
- 田村石油(株)
- 橘地区

- ㈱工コア北九州支店 筑豊事務所
- ㈱マキテック九州工場
- 日本郵便 ㈱金田郵便局
- 一般社団法人 田川歯科医師会
- ミスターマックス田川ハイパス店
- 社会福祉法人 明和会
- 特別養護老人ホーム 寿楽園

優良危険物取扱者

- 梅田 順一 (南油須原石油店)
- 春永 和弘

優良消防設備業者

- 有限会社 筑添建設

優良消防設備士

- 池永 節男 (池永電気)

平成27年度の定時総会が、平成27年5月25日(月)ザ・プリティッシュヒルズにおいて開催されました。平成26年度収支決算などの上程された議案はすべて議決されました。また、議案審議に先立ち防災功労による表彰の授与も行われました。

優良防火管理者

- 友野 雅浩 (銜石見商会)
- 吉田 利恵 (医療法人 二田水整形外科医院)
- 山中 龍一 (㈱サンリフ田川)
- 野田 敬二郎 (医療法人社団 恵和会)

優良業務主任者

- 山口 剛史 (銜タオサカ)

今年度理事の改選で新たに選任された正副会長及び理事は次のとおりです。(順不同敬称略)

会長

- 平田篤三郎 (銜添田産業方ス)

副会長

- 二場 浩隆 (八友会)
- 川端喜美男 (銜川端電工)
- 江藤 正剛 (江藤石油)
- 仲村 一秀 (日立マクセル(株))
- 吉田 久志 (特養) 長寿園
- 大内 孝次 (二社) 田川医師会

理事

- 山本 浩 (銜山本石油店)
- 日高 厚 (日高石油(株))
- 久本 実 (山栄石油方域給油所)
- 桑野 秀幸 (㈱桑野商事)
- 小嶋 尚紀 (㈱キノシタ)
- 村上 忠輔 (銜総合)
- 吉田 伸也 (銜三栄石販)
- 嶋津 亮彦 (㈱谷口石油)
- 平田 俊成 (㈱水交舎)
- 吉田 善行 (㈱今川工務店)
- 藤浦 壽 (銜藤浦設備)
- 池田 昇 (銜池田商会)
- 檜村 寛治 (銜桧村商店)



- 白土 雅彦 (医) 昌和会見立病院)
- 桑野 和弘 (日本フィルター工業(株)田川工場)
- 田中 睦久 (国際工業(株))
- 古賀 洋介 (松尾製菓(株))
- 坂本健一郎 (日立化成オートモティブプロダクツ(株))
- 林 一成 (太陽セランド(株))
- 平井 太郎 (マルボシ酢(株))
- 北山 幸司 (㈱九電工田川営業所)
- 嘉久速一郎 (田川構内自動車(株))
- 下山久美義 (水谷建設工業(株))
- 成田 忠憲 (銜成田建設)
- 木下 哲之 (銜百恵商事)
- 田丸 米蔵 (田川自動車整備工業会)

- 下田 貢 (豊前川崎商工会議所)
- 鶴我 正司 (田川商工会議所)
- 永松 博己 (後藤寺商店街振興組合)
- 小野 隆 (日本郵便 ㈱津野郵便局)
- 図師 史哉 (日本郵便 ㈱大藪郵便局)
- 崎山 亮 (社福) 添寿会 (特養) 添寿園)

(平成27年中)

田川地区の 火災・救急概要

火災



平成27年中の火災件数は97件であり、昨年の87件と比較すると、10件の増加になります。

火災による損害額は、56,993千円で、前年と比べて31,463千円の減少となっており、損害額の98%は建物火災によるものです。出火原因は、放火が16件と最も多く、たばこが10件、コンロが6件、たき火が6件となっています。

特に放火は、毎年1位となっています。家の外周に燃える物を置かないことが大切です。

順位	1	2	3	3	5	5	7	7	7	7	7	不明(調査中を含む)
出火原因	放火(疑い含む)	たばこ	こんろ	たき火	火遊び	火入れ	風呂かまど	ストーブ	配線器具	マッチ・ライター	灯火	その他
総件数	97	16	10	6	6	3	3	1	1	1	1	13
合計	97	16	10	6	6	3	3	1	1	1	1	13

■火災の前年比較表

区分	平成26年中	平成27年中	増減	
火災件数	87件	97件	10件	
焼損面積	建物	1,496㎡	1,856㎡	360㎡
	林野	14a	29a	15a
焼損棟数	46棟	52棟	6棟	
り災世帯	32世帯	44世帯	12世帯	
り災者数	61人	98人	37人	
死者	1人	4人	3人	
負傷者	5人	11人	6人	
損害額	88,456千円	56,993千円	31,463千円	
全火災の1件当りの損害額	1,017千円	588千円	429千円	
建物火災1件当り	焼損面積	45㎡	49㎡	4㎡
	損害額	2,662千円	1,473千円	1,189千円
1ヶ月当りの火災件数	7.2件	8.1件	0.9件	
出動人員(延)	907人	1,041人	134人	
備考	平成27年中の火災件数及び損害額(内訳)			
	建物	38件	55,990千円	
	林野	13件	0千円	
	車両	7件	963千円	
	その他(爆発)	39件	40千円	

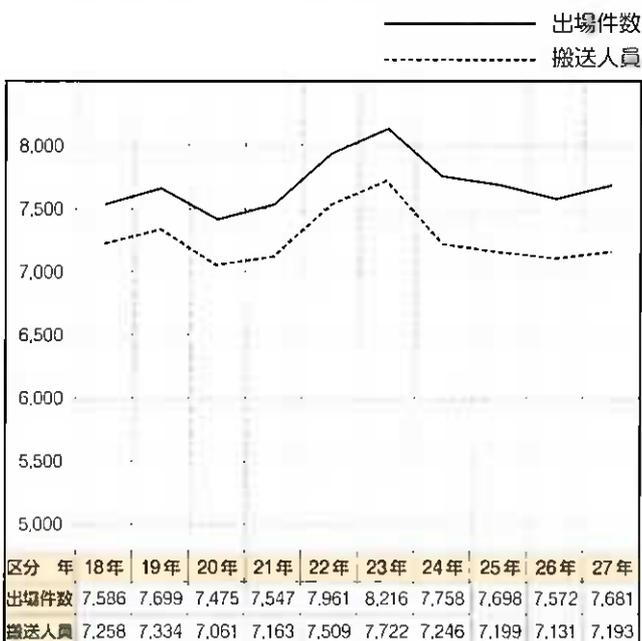
救急

■救急の前年比較表

区分	年	前年対比			平成27年救急出場別	
		平成26年	平成27年	増減		
出場件数		7,572	7,681	109	平成27年救急出場別	
救急件数		7,065	7,110	45		
搬送人員		7,131	7,193	62		
救急出場件数	事故別	平成26年	平成27年	増減	構成率%	順位
	急病	4,554	4,787	233	62.32%	1
	転院	1,127	1,026	-101	13.36%	2
	一般負傷	982	920	-62	11.98%	3
	交通事故	501	515	14	6.70%	4
	その他	239	263	24	3.42%	5
	自損行為	72	63	-9	0.82%	6
	労働災害事故	26	39	13	0.51%	7
	加害	44	31	-13	0.40%	8
	運動競技事故	20	16	-4	0.21%	9
	火災	3	12	9	0.16%	10
	水難事故	4	8	4	0.10%	11
自然災害事故	0	1	1	0.01%	12	
一日平均件数		20.7	21.0			

平成18年以降、10年間の救急出場件数の推移は下表のとおりです。

1日平均では21.0件の出場件数になっています。



平成27年中

実施した防災事業

災害の未然防止を図るために、消防機関と協力して本年も各種事業を実施しました。多くの人が安心して暮らせる田川を目指して、防災の輪を広げる活動を行っています。



防火診断を実施

当協会では、秋季全国火災予防運動期間に併せて高齢者家庭の防火診断を行いました。

防火診断では、ガスコンロや石油ストーブ等の火気の取り扱いや、コンセントのタコ足配線等について点検を行いながら、世間話を交えて火災予防についての話をしました。

防火診断の結果、コンセントのタコ足配線が多く見られたため、タコ足配線の危険性を説明し、必要な器具だけを接続するようにお願いしました。

また、住宅火災による死者の発生原因は、気づくのが遅れたことによる逃げ遅れが多いことを説明しました。

このように高齢者家庭の防火診断は、火災予防に大変成果が上がっている事業です。

以上のことから今年度は、当協会として住宅用火災警報器の設置と防水カバー付延長コードを贈呈しました。

危険物取扱者試験準備講習会及び消防設備士試験準備講習会を実施

当協会では、毎年3回実施される危険物取扱者試験の受験者を対象とした試験準備講習会を実施しています。受講者は、次のとおりです。

- ・危険物取扱者試験準備講習会
 - 2月15日(日) 27名
 - 6月7日(日) 14名
 - 10月4日(日) 12名
- ・消防設備士試験準備講習会
 - 6月19日(金) 7名
 - 6月20日(土) 6名
 - 6月21日(日) 7名



役員視察研修

平成27年度の役員視察研修は、10月21日に実施し、21名の役員と2名の来賓及び事務局3名が参加しました。

今年度は、福岡地区水道企業団海水淡化センター（まみずピア）の視察では、見学担当者から、各施設に対して丁寧な説明をして頂きました。参加者は、各施設ごとに担当者から説明を受け、多数の質問をしておりました。



当施設は、日本最大級の施設で浸透取水方式の採用により、きれいな海水を真水にして、天候に左右されることなく水の供給が安定的に取水することができま。

次に、九州国立博物館では、開館10年の節目を迎えそれを記念し、特別展（美の国 日本）展が開催されています。

本展には、正倉院宝物が特別出品され、正倉院で大切に守り伝えられてきた宝物の中から、歴史教科書でおなじみの螺鈿紫檀五絃琵琶を含む6件が期限限定で公開され、奈良時代宮廷文化の華麗な世界を堪能することが出来ました。

火災予防運動を協賛

3月・11月

当協会では、春季及び秋季の火災予防運動の協賛を行なっています。

田川市内のメルクス田川と大任町（水辺公園）で実施し、チラシ配布による火災予防啓発を行ないました。その後、防火演奏を行なった保育園等に記念品を贈りました。



田川地区総合防災訓練に参加

平成27年11月15日に行われた田川地区総合防災訓練に当協会も協賛しました。

また、会員である田川医師会、九州電力株が個別に参加するとともに、部会としてLPガス部会が訓練に参加しました。



お知らせ

平成28年度の各種資格取得試験及び講習会の予定をお知らせします。
会場の都合により変更する場合があります。そのため、消防本部予防課内の事務局で確認して下さい。

●危険物取扱者試験

- 第1回 平成28年6月初旬頃
[願書受付期間]
- 第2回 平成28年10月下旬頃
[願書受付期間]
- 第3回 平成29年3月上旬頃
[願書受付期間]

協会では、それぞれの試験日にあわせて、乙種4類の試験準備講習会を実施する予定です。

危険物取扱者試験は、県内4会場で行われますが、筑豊地区は田川市の

福岡県立大学が会場になります。

●消防設備士試験

- 第1回 福岡市・田川市
平成28年7月中旬頃
- 第2回 北九州市
平成28年8月上旬頃
- 第3回 福岡市・田川市
平成28年12月中旬頃

●危険物取扱者保安講習

平成28年10月12日・13日
筑豊地区会場は、田川市(田川地区消防本部)を予定しています。
受講者はいずれかの日に3時間の受講が必要です。危険物取扱作業に従事している次のような人が受講対象となります。

- ① 継続して危険物取扱作業に従事している者は、前回の講習を受けた日以後の最初の4月1日から3年以内。
- ② 新たに従事する者は、従事することとなった日から1年以内。ただし③に該当する者は③による。

③ 過去2年以内に免状の交付又は講習を受けている者は、免状の交付又は受講した日以後の最初の4月1日から3年以内。
※危険物取扱作業に従事していない人は受講の必要はありません。

●消防設備士法定講習

平成28年10月(未定)
消火設備 1日
警報設備 1日
避難設備 1日
筑豊地区の会場は、飯塚市を予定しています。

- ① 消防設備士免状の交付を受けた日から2年以内の人
- ② 前回の講習を受けた日から5年以内の人

●防火管理講習会

消防法により建物の所有者などの管理権原者は、火災から人命を守るために防火管理者を定め、防火管理業務を行わせなければなりません。この防火管理者の資格は、2日間の講習を受けることにより取得できます。

- ① 田川地区消防本部
平成28年6月中旬頃
- ② 県立飯塚研究開発センター
平成28年5月24日・25日
9月1日・2日
- ③ 直方市中央公民館
平成29年2月1日・2日

※再講習(1日)

県立飯塚研究開発センター
平成28年8月31日



住宅用火災警報器を取り付けましょう！

火災により発生する煙を自動的に感知し、逃げ遅れなどからの被害を無くすために、住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。

田川地区の設置率は、全国平均よりも低いため、火災から大切な家族の命を守るために設置を心がけましょう！また、電池の寿命は10年が目安です。電池を交換するか、新しい住宅用火災警報器に取り換えてください。

なお、消防職員を装ったの販売や、高額請求など悪質な訪問販売の被害が発生しています。消防職員による販売や、消防署が特定業者に販売を依頼することはありません。

編集後記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。

この会報も今回で第42号となりました。会報発行にあたり会員の皆様にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。本年もよろしくお願い致します。

事務局長 神崎 久登
事務局 野澤 友宏
事務局 浦野 晃一
事務局 浦川えみ子



一般社団法人
田川地区防災協会
へのお問合せ

事務局 田川市大字川宮1570番地
田川地区消防本部予防課内
☎0947-44-0650(内線133)
☎0947-44-6256(直通電話)